

国際ロータリー第 2500 地区第 6 分區

# 帯広東ロータリークラブ会報



ROTARY  
SERVING  
HUMANITY

2016-2017 年度  
帯広東ロータリークラブ

会 長 高 田 進  
幹 事 石 川 博 機  
メディア委員長 上 野 敏 郎

「活 : かつ」

第1558回例会

平成29年3月14日(火) 於 ホテル日航ノースランド帯広

■創 立 : 1984年6月15日 ■認 証 : 1984年6月18日 ■例 会 : 毎週火曜日 12:30~13:30  
■事 務 局 : 帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F Tel.0155-25-7347 ■会 場 : ホテル日航ノースランド帯広



2016-2017 年度 国際ロータリーテーマ  
**【人類に奉仕するロータリー】**  
2016-2017 年度国際ロータリー会長  
ジョンF・ジャーム

ガバナーテーマ  
**【ロータリーの明日の為に、積極的に行動しよう】**  
国際ロータリー第 2500 地区 ガバナー  
駒 形 曙 美

月間テーマ  
**【水 と 衛 生 月 間】**

◎起 立 加藤昭治 副SAA  
◎友情の握手 加藤昭治 副SAA  
◎点 鐘 高田 進 会 長  
◎開 会 宣 言 加藤昭治 副SAA  
◎ロータリーソング 「奉仕の理想」  
◎会 食

会長挨拶

高田 進 会長



今日は、自分の趣味で海釣りのお話をしてみたいと思います。

51、2歳位のとき古い友人から電話があり、標津へ、くろがしらというカレイを釣りに行かないかとの誘いがありました。これではまってしまいました。大きさは30~40センチ程大きいものは50~60の大物も、で最終的に30枚位ほかには秋味をはじめ、カレイ各種、鱈。ホッケ、イカ、柳の舞、そい等が主な獲物です。

釣り人は、普段は仲がよく、釣り談義が大好きですが一旦釣りモードにはいると人が変わり競争心や嫉妬心で固まり、場合によっては意地悪にもなります。

先に釣られると悔しい誰よりも大物を釣るとうれしいのは自分だけ他人は口で褒めても心からは褒めません。よって釣りは船上では個人バトルとなります。以下好きな格言、面白い格言を抜粋してみました。

魚と話しができて一人前  
魚を与えれば 一日たべていける  
魚の捕り方を教えれば 一生食べていける

老子

釣り師は心に傷があるからつりにいく。しかし、彼はそれを知らないでいる。

釣りをしている夫の姿を見たことがない女房は、自分がどれほど辛抱強い男と結婚したか気が付かない。

釣りは男が寂しさ無しに孤独でいる事ができる地上に残されたわずかな場所の一つだ。

釣りを知らない事は、人生の楽しみの半分を知らないことだ。

もし釣りが仕事の妨げになるなら、仕事の方をあきらめなさい。

釣れない時は、魚が考える時間を与えてくれたと思えばいい。

釣れない時釣り人は哲学者になり、釣れた時単なるお調子者になる。

釣り師が仕掛けを作る事は子づくりより楽しい。

釣り好きな奴には、好色な奴と短気な奴が多い。

酒、女、博打は病んでも釣りはやまぬ。

イカは俺の前ではスミをはかない。吐くのは弱音だけ。

ふぐは死ぬほどうまい。

以上挨拶といたします。

会務報告

石川博機 幹事

◎第2500地区第6分區 I M(都市連合会)開催のご案内

日 時 : 平成29年3月18日(土)

午後1時より受付開始

I M : 午後1時30分~午後5時30分

懇親会 : 午後5時45分~午後7時30分

場 所 : ホテル日航ノースランド帯広

※尚、3月28日(火)の繰上げ例会と致します。



- **高田会長** 侍ジャパンの連日の活躍にニコニコします。
- **石川幹事** 十勝信組さんの沖縄ゴルフツアー大変楽しかったです。
- **大塚会員** 本日のプログラムは職業奉仕委員会が担当します。加藤雄樹会員には無理をお願いしますが宜しくお願いします。
- **曾根会員** 結婚記念日のお祝いを頂き有難うございました。
- **上野会員** 会報の発行、順調に進んでいます。
- **加藤(雄)会員** 本日卓話をさせていただきます。
- **益子会員** 平成30年度体制も固まりニコニコ致します。ありがとうございました。
- **池田会員** 昨日第1班の情報集会が終わりました。第1班の皆様お疲れ様でした。
- **加藤(肇)会員** 決算、確定申告、無事終わりました。新年度も踏ん張りしたいと思います。
- **及川会員** 今日はホワイトディです。深澤さん本命チヨコうけとっていただき、いつも笑顔、ありがとうございます。今後ともよろしくお願い致します。

## 出席報告

出席・プログラム委員会 宮前 克則 委員



本日3月14日出席は25名でございました。

先日お願いをいたしました、メイキャップの件ですが、お三方をお願いをいたしましたら、3人とも13日の昨日メイキャップに行ってくれました。また、7日に欠席されている方がいらっしゃいましたら16日・17日が繰り上げ例会のメイキャップの日となっておりますのでよろしくお願ひいたします。

## 【会員卓話】

## 演題：【自動車アセスメント】

加藤雄樹 会員



皆さんこんにちは。

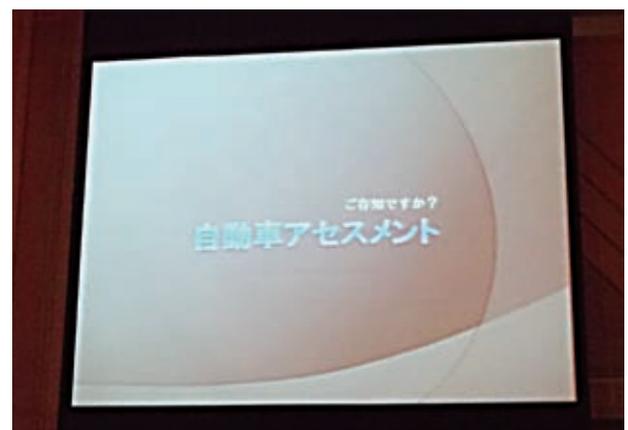
大塚会員にこの前沖縄でいわれまして、引き受けてしまったのですが何をしようかなと思ひまして、まずはタイトルが出ていますけど自動車アセスメントということにご存じありますか？聞いたことがある方はお手を上げていただければ……あまり聞いたことがないんじゃないかと思うのですよね。

自動車アセスメントというのは、今まで衝突安全性能評価ということで、実際に車を衝突させたりして車の安全性を確かめるということでアセスメントというのは、公的機関で実際に車を買って衝突の実験とかをしているのです。

その結果は公表されているのですが、余り目にしないのではないかと思います。それでどういうことをやっているのかということと乗員の保護の性能評価、正面からぶつかけたり、オフセットとってちょっと斜めからぶつかけたり、側面にぶつかけたり、ハイブリットの車については感電しないようにということと感電保護評価試験とか、いろいろと乗っている人の安全性がどれだけいいのかということをしてる実験結果です。

その結果というのは以前から発表されてまして、それが出たときは私の会社にも結果が2～3冊来たのですが余り一般的には出回っていないと思ひます。

最近はそのプラスして歩行者保護性能だとかシートベルトの性能ですとかブレーキの性能ですとか、そういったことを総合評価して点数にしてこの車が何点だというようなことをやっています。



最近の車は自動運転という車も出て来まして、自動運転ということに関してそこに向かっていくわけですが、その前の段階でいろいろと各社の車を買って実際に車を使ってそういう実験をしています。

その結果についてはホームページで発表してますので、車を買うときにこういったことがあると参考にしていたらいいなと、今日お話をすることにしました。

今回は自動車の安全の予防安全性能という評価・アセスメントの概要についてお話をしたいと思います。

国土交通省と自動車事故対策機構が衝突が避けられない場合に自動でブレーキを掛ける技術など、自動車制動安全技術について新たに評価を始めました。これを予防安全性能アセスメントといい先進安全技術を搭載した自動車の安全性能については様々な試験を行い、その結果をこのパンフレットにまとめてます。

このパンフレットは、それぞれのユーザーの皆様にとって最適な自動車を選んでいただく上で、参考になる情報を提供するためのものです。ユーザーの皆さんに是非知っていただきたい先進安全技術の機能や性能、留意事項について正しい知識を解りやすく解説するとともに車種事に性能を比較して掲載しています。

予防安全性能アセスメントは、多くの皆様により安全な先進安全技術を搭載した自動車を利用していただく事で、交通事故を減らしていこうとするものです。同時にそれぞれの自動車の評価をして比較をすることで、自動車メーカーがより安全な自動車の開発を促すものでもあります。そういうことが一応目的でもあります。

より安全な車選びのためのチェックリストとかこういったものを持っています。

まず最初に被害軽減ブレーキ、自動ブレーキとか名前がついていますが、試験方法は試験車を10km~60kmで模擬車輦に後方から接近させて被害軽減ブレーキの作動試験をします。試験はターゲットが止まった状態での試験と20kmで走行している場合の2種類について実験をしています。警報またはブレーキの作動により衝突を回避した場合、あるいは衝突した場合でも、衝突前にどの程度速度が低下していたかに応じて得点が与えられる、という試験を実際に行っております。

予防安全装置の説明については、どういうものを使っているかということなのですが、カメラとかレーダーとか前の自動車を検知して追突するおそれがある場合に

は、音や警告灯などでドライバーに警告してブレーキ操作による衝突回避を促すこれが1番です。

警報が鳴りますので警報で運転者が自分でブレーキを踏んで止める場合衝突が避けられないシステムのほうがこれはだめだぶつかると判断した場合に被害軽減ブレーキが作動して車を止めるようになっています。その2つの条件であります。

もう一つは車線はみ出し警報といいまして、道路の車線センターライン及び横のサイドラインをこれをカメラで捉えるのですが、試験車は60km~70kmで道路の片側に引かれた白線から少しずつはみ出して走行させたときにどこで警報を発するかとか、最近ハンドルをちゃんと切ってくれている車もポチポチ出て来まして。白線の所で白線と白線の間でセットすると決めた速度で自分のレーンの方をカーブすればちゃんと曲がるということになった車も最近は出て来てます。

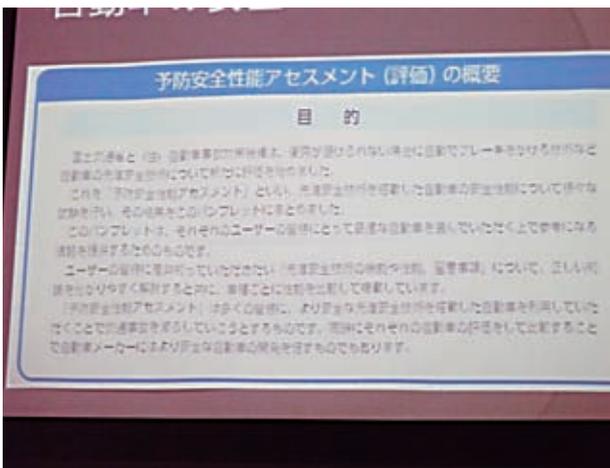
はみ出し警報の説明としましては自動車のカメラで捉えます。カメラが1つの車と2つにお車がありますが、いろんなレーダーを使ったりいろいろと車によってはいろいろな方法を使いながらやるわけですが、白線からはみ出すとなったときに警告灯でまず知らせます、ただドライバーがウインカーで操作をした時には警報は発生しないことになっております。

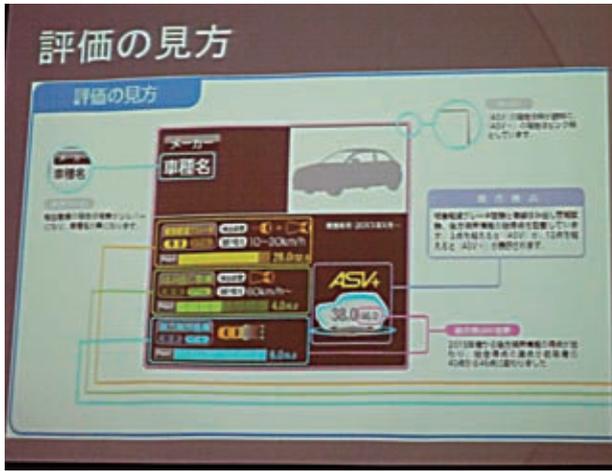
後方視界、後ろの方についての警戒です、後退時にドライバーが直接確認することが難しい後方の視界情報を車内のモニターに映し出す装置バックモニターといいますけど、それとプラスにしてセンサーがありまして、子どもとかそういった障害物あった場合に車の方が止まってくれる、そういう装置がついた車も最近はでてきてます。

そういうことで総合評価としては、日本の事故実態を踏まえて死亡とか重傷事故を少なく出来る効果に応じて与えらその合計が2点以上の場合には、先進安全車(A S V)として認定されます。さらに12点以上の場合には先進安全車+(A S V+)として認定されます。

先日新聞に母親がバックしたときに自分の子どもを引いてしまったというような事故も新聞に載っていましたが、そのような事も防止するという観点でこういう評価になってるわけです。

それで車種事にこのような評価が出てます。どういうことかというメーカーと車種名が載ってます。





被害軽減ブレーキこれについては検出装置が2つ持っていると思うのですが左側の方がレーダー右側の方がカメラでようするにレーダーとカメラを2つ併用しています。速度の領域ですけどたとえば10km~30kmと書いていればその範囲です。それに対しての性能が28点と載っていますがポイントが出てくるというようになっています。

はみ出し警報です、はみ出し警報の検出装置というのは車に付いているカメラになります。これも60km~70km位で試験をするわけですけど、どの程度で警報が鳴ったかということでそのポイントが付くようになっています。

後方視界、これも後ろがきちっと死角がなく見えるようになっているのかどうか？ということでポイントが付きます。

表記がA S V + 『38/46』というのは満点が46点で点数が38点です。

被害軽減ブレーキについてはカメラとレーザーレーダーとミリ波レーダーそういったものが使われています。その確認作動域、点数、その下の車線ははみ出し装置についても標準に付いているものとオプションで付いている車とそれぞれありますので、それぞれ標準で付いているかオプションで付いているかということについての記載がされます。

後方視界装置これも標準で付いているかオプションなのか、後方視界情報試験を実施してモニターに表示された視対象物の数を示す。高さとか子どもの身長だとかいろんな杭だとか、そういったものを基準に作っている物をどこまで判別できるかというようなことであります。

実際の車の評価は、ホームページに載っていますので参考にさせていただければと思います。

自動車アセスメントというのは公正性を保つために自動車アセスメント評価検討会というのがありまして、評価方法の手法の作成と試験対象車種の選定、試験結果の分析等をを行う。

試験車はユーザーが実際に購入するように自動車販売店で自動車事故対策機構職員が展示車や在庫車を実際に購入しているそうです。

販売店で購入が困難な場合は生産工場において無作為に抜き取って購入します。購入した車はその状態を保たれるようにそれまでマーキングを行います。自動車事故対策機構の職員の監督の下で全てのアセスメント試験が



実施されるということです。

結構信憑性のある試験じゃないかなと思います。これはこういう機関が日本だけでなく世界各国でアメリカ・欧州・オーストラリア・中国・韓国・アセアン・南米それぞれの国で安全性能についての評価の機関があるそうです。

最近のデータを入手しましたので、ここに載っている点数これは46点が満点ということで、結構面白い結果が出ているなと思います。こういう結果ということでメーカーのカタログを見ましたスバルのアイサイトというのがありまして、これも最近新しく出た車はスバルはカメラだけでやっているみたいですけど、アクティブレーンキープといいまして白線の間をハンドルを自分で操作しなくてもハンドルは白線にそって曲がってくれるようになっているそうです。カメラだけで結構やっているんですけど、私も乗っていますが割と信頼性は高いのではないかと思います。

トヨタも最近ほとんどの車に付くようになってきます。トヨタセーフティセンスPというのがプリウスに搭載されたものです。これもプリウスの車線逸脱の可能性をお知らせということでまだハンドルを切るところまではいっていないみたいです。

最近日産でセレナが自動運転ということで販売した車があるのですが、それもレーンキープをしてくれる車です。ただ高速道路とかそういう交差点が無い道路で自動運転というふうに限定をしていますけどもだんだんと車はそういう様な方向に向かっているのかなと思います。

だいたい今日はそういう事でおしまいなのですが、皆さん車買うときにですねこういった物がありますのでホームページから確認することができます。いろいろ参考になると思いますので見ていただければいいかなと思います。以上で終わります。ありがとうございました。

◎閉会宣言  
◎点 鐘

加藤 昭治 副SAA  
高田 進 会 長

### 次週プログラム

3月18日(土) 「第6分区IM」帯広・広尾RC担当  
※3月28日の繰上げ例会